

②警戒レベルに注意し、早めに避難しましょう

警戒レベルは、災害発生の危険度が高くなるほど数字が大きくなります。警戒レベルが出されたとき、どのような行動をとればいいのでしょうか。

〔警戒レベル3〕

高齢の方や障がいのある方などは危険な場所から避難し、それ以外の人も、普段の行動を見合わせたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難しましょう。

〔警戒レベル4〕

対象となる地域住民の方々には危険な場所から全員避難しましょう。

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報
5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保 (町が発令)
(警戒レベル4までに必ず避難!)			
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示 (町が発令)
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者等避難 (町が発令)
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁が発表)
1	気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報 (気象庁が発表)

③防災対策の三要素(自助・共助・公助)をご存じですか



自助・共助・公助とは?

実際に災害が起きた時に、できるだけ被害を少なくするには事前に防災対策を立てておかねばなりません。防災を考えるうえで、必要な三要素として「自助」「共助」「公助」があります。

自助

自助とは、自分自身や家族の命と財産を守るために、自ら防災に取り組むことです。自分(家族)の身は自分(家族)で守る、との考えのもと、日常的な災害に対する備えや、災害時の対応を行っていきましょう。

共助

まず自分自身や家族の安全を確保した後に、近所や地域の方々々と助け合うということです。また、災害時に円滑に助け合いができるように、日ごろから地域・組織・グループでの助け合いについて備えることです。いざという時に助け合いができるよう地域のつながりを大切にしましょう。

公助

国、自治体、消防、警察、自衛隊などによる公的な救助、災害支援や復興活動のことです。鳥取県では、災害時の住民の救援を迅速・円滑に進めるため、関係機関・業者等の団体と災害時応援協定を締結しています。

大規模災害時の「公助の限界」

大規模災害時では公助(行政、消防、警察、自衛隊、医療機関)の機能に限界があります。また、道路や交通手段に大きな被害が出ると、物資を運ぶ物流も機能低下します。災害からの被害をできる限り少なく抑えるためには、平常時から、自ら取り組む自助、地域で取り組む共助を実施し、大規模災害に備えることが必要になります。いざというときに備え、日ごろから防災を意識して取り組みましょう。



土砂災害から身を守るには



雨の多い時期を迎え、災害に対する意識を高め、災害から身を守る知識を身につけましょう。

近年は地球温暖化による異常気象の影響で、これまでに経験したことのない甚大な災害が全国各地で発生しており、日野管内でも、大雨や台風の影響により大きな災害が発生しています。

鳥取県では土砂災害から人命や財産を守るために様々な対策工事を実施しています。

しかし、災害発生の可能性がある箇所が至るところにあるため、工事には長い時間と多額の費用を必要とします。また、工事をすれば絶対に災害が発生しないとも限りません。

では私たちはどうすれば良いのでしょうか。



土砂災害とは?

大雨により、山や住宅地にある急な斜面が崩れ、また崩れた土砂や木が雨水や川の水と混じって流れてくることによって、人命が奪われ、家や田畑や道路が土砂で埋まる災害を土砂災害と呼んでいます。

土砂災害は、大きく3つに分類することができます。

①がけ崩れ

急な斜面が崩れることをがけ崩れといいます。大雨の時に、一瞬のうちに起こることが多いため、家が壊れて、人命が失われることが多い災害です。



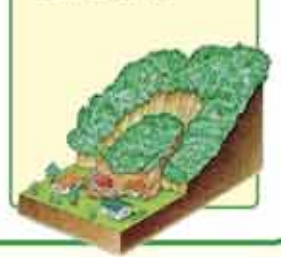
②土石流

土石流は、山から崩れてきた土や石や岩が水と一緒に流れて、ものすごい勢いで流れ落ちてくる現象です。



③地すべり

地すべりは、斜面が広い範囲にわたって動くものです。家や田畑なども一緒に地面が大きな塊のまま動きまわります。



①危険な場所と危険度の確認方法を知りましょう

どこが危険なの?

鳥取県では、土砂災害が発生した時に被害の及ぶ可能性のある範囲を土砂災害警戒区域として指定しています。

町から配布されている土砂災害のハザードマップ等を確認し、日頃から身の周りの危険な場所を確認しておきましょう。

*鳥取県ホームページで「とっとりWebマップ」を検索すれば、確認できます。

土砂災害の危険度を確認するには

「鳥取県土砂災害警戒情報システム」では土砂災害警戒情報や土砂災害危険度情報、雨量情報をスマートフォンや携帯電話、NHK地上デジタル放送から確認することができます。



【パソコン・スマートフォン・携帯電話共通URL】 <https://d-keikai.sabo-tottori.jp/>
二次元コード読取機能のあるスマートフォン、携帯電話をお持ちの方は、右の二次元コードからもアクセスできます。

2022年6月1日から、気象庁が線状降水帯予測を開始します。こうした情報にも気をつけていきましょう。
《線状降水帯とは》雨雲が線状に次々と発生し、数時間にわたり同じ場所で強い雨を降らせる現象です。

